



家庭と社会が協同して、乳幼児がすくすく育つ社会に

教育学部 教授 石野 陽子 教授 藤川 雅人 助教 小山 穂菜美
教育学研究科 原 広治

乳幼児がすくすく育つ社会を実現するために、家庭と社会がどのようにその育ちを見守り支えるのか、ということについて、学んでいきます。

まずは、乳幼児の発達について、よく知らなければ支えられません。発達を身体面・認知面・心理社会性の面から理解し、観察の視点を養います。

次に、子どもの親の役割と心理を知り、乳幼児の親の育ちを親身になって支える姿勢を育てます。

そして、乳幼児の発達を見立て支えるための専門職について、その役割と制度、具体的な支援方法について学びます。

さらに、各専門職がどのように連携しながら、乳幼児とその親の育ちを支えるのか、ということについて考えていきます。

学び手が、乳幼児とその親を温かく支える社会の一員になれるように、教育実践しています。

